



寄り添う心
つながる手

心がいっぱい
朝日町ボランティア
マスコット
ハートフルちゃん

ふれあいネットワーク

ハートフル通信

オール朝日町で支え合う 安心生活のまちづくり(町社協の基本理念)

令和7年2月1日

第30号

編集・発行
朝日町社会福祉協議会
富山県下新川郡朝日町泊418
tel.0765-83-0576
fax.0765-83-1589
https://asahiwel.com

特集

たくさんの人の想いがつまった 朝日ふくしフェスティバル

令和6年11月2日(土)アゼリアホールにて第6回朝日ふくしフェスティバル(以下、ふくしフェスティバル)を開催しました。

朝日町内外で活動する様々なボランティアグループや福祉関係者が集まり、ステージ発表や活動紹介・体験ブースなどを設けて地域の方と交流を深めました。

ふくしフェスティバルでは、活動発表されるボランティア以外に、運営にご協力いただいているボランティアの方々がいっぱいます。会場の設営、ステージの照明、記録撮影、受付などのブースの運営、片付けなどにご協力いただいています。

今号では、ふくしフェスティバルを支える運営ボランティアの方が、ボランティアを始めたきっかけやふくしフェスティバルへの想いについてご紹介いたします。



参加してみないと
分からない!

K.Aさん

運営ボランティア

ボランティアを始めるきっかけは、ボランティアサポーター(※)として地区自治振興会より選出されたことがきっかけでした。ボランティアサポーターに任命されてから、地区の敬老会での運営ボランティアや災害救援ボランティアセンターの立ち上げ訓練などに参加してきました。参加してみないと分からないので、声が掛かればできることがあるならと参加してきました。そのような活動を通して、気の合うボランティアサポーターの仲間に出会うことができました。仲間の中には、私より人生の先輩方もいて私の人生の目標となる方とも出会えました。ふくしフェスティバルでは、元ボランティアサポーターの仲間とも会うことができ、楽しく活動できています。

また、新しいボランティア活動者の方との出会いがあります。町外から継続的にボランティア活動に参加される方、普段の生活では出会うことがない方とお話することができて良かったです。

※ボランティアサポーターとは、「地域におけるボランティア活動の推進役」として、身近なところでボランティア活動に関する相談に応じてくれるボランティアを支えるボランティアの方です。(平成6年度～令和3年度まで活動)

昨年、ふくしフェスティバルに運営ボランティアとして参加しました。10年程前に、少し手伝うつもりで参加したのがきっかけで、それ以来、毎年続けています。ここ数年は会場設営とステージ照明を担当し、出演者が気持ちよく活動発表できるように心掛けています。このふくしフェスティバルは、朝日町で活動するボランティア活動者を知ってもらおう機会でもあり、ボランティア活動の入口にもなりやすい場です。「ボランティア=大変」というイメージがありますが、頼りにされるのは嬉しいですし、みんなで作る達成感もあります。そして、いつも私よりも年長の方が活躍する姿に刺激を受けています。

これからは若い世代にも声を掛けて、一緒にボランティア活動を広げたいと考えています。ふくしフェスティバルでお会いする方々と「元気にしotta?」と声を掛け合うのも楽しみに、今後も続けていきたいと思っています。



この町のボランティア活動を
知ってほしい!



三門明 秀夫さん

運営ボランティア



参加することで
様々な人に出会える!

E.Kさん

運営ボランティア



これまでも何かしたいと思っていましたが、孫の子守りもあり迷惑をかけるのでは?と思うと参加できませんでした。孫の子守りも落ち着いてきたので、声が掛かれば参加するようにしています。引っ込み思案な性格なのですが、友人も誘ってくれるので外に出る機会が増えました。後期高齢者になり気持ちが落ち込むこともありましたが、今は自分のためにも参加しています。参加すれば知っている方にも会えますし、様々な活動をしている方にも会えます。人とふれあえるのが楽しいです。

FM76.1MHz
RADIO
ラジオ・ミュー



ふくしフェスティバルの司会でお馴染み!
ボランティアの番組をされている朝野さんに
聞いてみました!

ボランティアさんと一丸となって運営しているところが印象的でした。ボランティアさんはやらされているのではなく、自ら進んでふくしフェスティバルがより良くなるように動かれ、かつ楽しそうだと感じました。ボランティアさんが主体的に関わっている温かいイベントだと思います。私にも一来場者と同じく「また、来てね!」と言ってくださって、また関わらせていただきたいなと思いました。そういった温かいボランティアさんがいるから、町外から継続して参加してくれるボランティアさんがいるんだなと実感しています。

他にも、社会福祉協議会のボランティアさんへの心配りなども、ボランティアさんに伝わってみんなが協力しようと思う良い循環を生んでいるのではないかと思います。





交流1 さみさと小学校4年生×地域の集いの場



さみさと小学校の4年生が、令和6年11月末にはようサロンとあたまの体操教室に来てくれました。総合的な学習の時間で、身近なふくしについて調べ学習をしていた子ども達が、実際に地域に住む高齢者の集まりに参加して交流を深めました。

子ども達は、踊りや歌などを披露したり、一緒に工作をしたりして交流をした後、自分達が高齢者の方としたい遊びを行い、各グループで楽しみました。交流する前は、高齢者のサポートとはどんなことをしたらいいんだろうと悩んでいた子ども達も、実際に関わることで人それぞれの違いに合わせて、高齢者の方に寄り添って交流していました。

また、参加された高齢者の方々も、一緒に交流することで「元気を貰った」「楽しかったよ」といきいきとした表情を見せていました。

ドラえもん主題歌を披露して、場を盛り上げてくれました。



小学生が考えたクイズに挑戦！



クリスマス飾りを一緒に作りました！



3人から4人のグループに分かれて、お手玉や風船遊び、面子などをして交流しました。

交流2 スポーツの楽しさ×障がいの相互理解



子ども達は前から気になっていた手話を、聴覚障がいの方や手話通訳者から教えてもらっていました。同時に普段の暮らしの中で困っていることや、趣味などの楽しみを質問していました。



令和6年11月30日（土）、今年度2回目となる障がい者スポーツ体験交流会を朝日まちなか体育館で開催しました。小学生を含む老若男女26名が参加し、前回同様、誰でも気軽にできるパラスポーツの「フライングディスク」と「卓球バレー」を通じて交流を深めました。当日はパラスポーツ指導員や手話通訳者、町外から参加された学生を含むボランティアの方に協力していただきました。

卓球バレーはチームで協力してボールを返します。そこには楽しみつつも互いを思いやり、一丸となる参加者の姿がありました。また競技以外の時も、手話を用いて普段の暮らしについて話をしたり、共に練習し合う姿もありました。このあたたかい交流会は「ふくし」について学ぶ機会にもなっていました。

フライングディスク（アキュラシー）



オレンジのアキュラシーゴールに向かって、フライングディスクを10枚投げて入った数を競います。

卓球バレー



卓球台を囲み、6人对6人の12人でプレーする競技。座りながら楽しめます。

朝日町社会福祉協議会 賛助会員を募集中！

賛助会員とは、朝日町社会福祉協議会が進めている地域福祉活動に賛同し、地域福祉活動を資金面で応援していただく「社協サポーター」です。

- 個人 1,000円（一口） ●団体 2,000円（一口） ●事業所・企業 5,000円（一口）

※いずれも年度毎の募集となります。

賛助会費の納付先

北陸銀行 泊支店 普通口座 口座番号1010310

名義 シャカイフクシハウジン アサヒマチシャカイフクシキョウギカイ

※お振込の際の振込手数料は、「受取人負担」をご指定ください。

なお、直接、朝日町社会福祉協議会事務所へご持参いただいても結構です。



朝日町協HP



朝日町社協 Facebook

～収集ボランティア活動～
ご協力ありがとうございました

- ◆(株)深松組 様 ◆明文堂書店 様 ◆芦崎三恵子 様
- ◆(株)kasablow 様 ◆森野稔 様

ほか、匿名の方々からもたくさんのご寄付をいただきました

編集後記

今年度は、たくさんの出会いがありました。いろんな方の想いにふれることができ、とても嬉しく思っています。たくさんの交流の場で、活力をもらったり、新しい発見があったりと交流の大切さを身に染みて感じました。今号では、人との関わりについてたくさんふれていますので、交流の場に参加するきっかけになればと思います。(西永)